

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひかりの芽		
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日		令和7年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日		令和7年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年11月1日		令和7年11月30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語聴覚士と共に工夫して行っている支援の方法を提案すること。	訪問先の保育者が悩んでいる事、課題としていることを持ち帰り、支援方法を考察して提案できるよう努めている。	保育者とのコミュニケーションの時間を大切に、悩みをより話しやすい関係性を作っていく。
2	訪問先の職員とコミュニケーションを積極的に行い、集団での姿、小集団での姿を共有している。	共通認識をもって携わることによって、児童にとって過ごしやすい環境を整えることができるように努めている。	園での取り組みや工夫してる事を事業所でも積極的に取り入れていく事で、更なる環境の充実を図っていく。
3	保護者とのやり取りも大切にすることにより、家庭での課題、姿も考慮した支援を提案している。	児発管との連携を大切に、面談を通して知りえた保護者の思いも考慮して支援方法を提案するようにしている。	保護者と保育者、支援者との連携を密にし、広い視点で児童の姿を捉えられるように努めていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援を行う機会がない。	家族へ発信するイベントを行っていないため。	家族が参加できる行事等を開催することにより、家族への支援に繋がれるようにする。
2	保育所等訪問の様子を保護者が視覚的に知りにくい。	訪問の様子は写真配信やSNS上に掲載していないため。	面談や日々の連絡帳を通して詳細に伝えられるよう努めていく。
3			